



ブルートルマリン
開示コメント*TR2



パライバ・トルマリン
開示コメント*TR2



ウォーターメロン・トルマリン



レッドトルマリン
(ルベライト)
開示コメント TR1

トルマリンの開示コメント表

鉱物名	カラー/透明度	宝石名	方法	開示コメント	備考
天然トルマリン	◇レッド ◇ピンク	□□□・トルマリン (カラー・バラエティー・ネームの付記は任意)	放射線照射	通常、照射処理が行われています	※TR1
	◇ブルー ◇グリーン ◇イエロー		加熱	通常、加熱が行われています	※TR2

トルマリンは幾多の宝石類の中でも最もカラー・バラエティが豊富で、無色から赤、黄、緑、青、紫を経て黒色までのすべてのカラー・グラデュエーションを完成させることが可能です。また、ひとつの結晶の中でも上下で色が変わるパーティカラード・トルマリン、外側が緑色で内側が赤色～ピンク色を示すウォーターメロン・トルマリンも知られています。

青色～緑色トルマリンの中で銅(Cu)成分を含有するため彩度が高く鮮やかな色調のものがあり、商業的に“パライバ・トルマリン”と呼ばれ人気を博しています。

“パライバ”の名称は特殊な検査を行なった報告書に記載されます。

赤色トルマリンはそのルビーのような色調から商業的には“ルベライト”と呼ばれることがあります。赤色及びピンクは天然にも産出しますが、その多くは照射処理に因るものです*TR1。

放射線処理で得られた色は安定で褪色することはありません。また、残留放射能など人体への影響は全く心配ありません。

青色および緑色のトルマリン(“パライバ・トルマリン”を含む)は多くのものが色調を整えるために加熱が施されています*TR2。

